

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	作業工程を細分化するなど、利用者がやりがいを持って取り組む環境が作られています
	内容	パンやクッキーの製造工程や作業工程を細分化し、利用者ができるだけ本人の嗜好に合った作業や得意な作業を作り出せる工夫を行っています。作業工程でわからないことがあれば、利用者同士でコミュニケーションを取りながら協力して課題解決にあたっています。また、事業所では衛生管理や工程管理、生産性の向上など、改善点があれば利用者の意見を積極的に取り入れ、利用者と共に品質の向上にあたっています。これまでも利用者の提案から新しい商品開発につながったケースが見られ、利用者がやりがいを持って取り組む環境が作られています。
2	タイトル	地域との関わりを通じて販路の拡大にもつながっています
	内容	事業所では手づくりクッキー・パンのお店「ヴェルデ」を1階に併設しており、多くの地域のお得意様を持ち、馴染みの関係が築かれるお店となっています。パンの配達や配送先も20件以上にのぼり、信頼関係が構築されています。さらに、公園やマンションの清掃活動を通じて多くの方と触れ合う機会が設けられています。パンやクッキーの販売では、市役所や特別支援学校、看護学校、市内の福祉施設、企業のイベント、地域のイベントなど、様々な機会 で連携を図ることができており、地域との関わりを通じて販路の拡大にもつながっています。
3	タイトル	利用者の自主性、利用者同士の関係性の活性化を図り本人の成長につながり、成果として現れています
	内容	事業所では、作業に関して利用者の自主性を重んじ、任せていくようにしています。職員の指導のもとということではなく、例えば利用者だけでラベル貼りを行い、利用者間のコミュニケーションを図るようにしています。利用者同士で助け合ったり刺激し合ったりする中で、自身のスキルのレベルアップやできることが増えるように、何かあった場合には職員が介入していくようにしています。こういった環境下で、お互いが支え合っていくことで人間関係の構築が図られ、本人のモチベーションもあがり通所の向上にもつながっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	支援の基本への方向付けを明示しながら、意識の統一性が図られることが期待されます
	内容	従前から掲げられている目標「PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実」に向けて、今年度から職員ミーティングでの情報共有の強化を図るようする等積極的に取り組んでいます。しかし、職員アンケートでは「支援が優先なのか、製造が優先なのか」といった支援の基本という視点からの迷いが現れたコメントとして寄せられています。情報共有強化の場として設定したミーティングの場ですので、この取り組みを活かし支援の基本に立ち返り、事業所として支援の方向性を職員間で議論を重ね、一丸となって取り組むことが期待されます。
2	タイトル	事業所業務を俯瞰できる職員の育成が期待されます
	内容	常勤職員10人のうち、7名までが最近入職した職員であることから、人材育成が大きなテーマとなっています。また、職員の確保が難しく、人材の確保と離職の低減は法人を挙げて取り組むべき重要なテーマとなります。特に当事業所のように製造プロセスを通じて利用者支援を行うことの難しさと、食品を扱う衛生管理上のコンプライアンスなど、職員の業務量が多くなる傾向が見受けられます。様々な経験やスキルを持つ人材の育成が必要であることから、個人別の人材育成計画を基に事業所業務を俯瞰できる職員の育成が期待されます。
3	タイトル	事業所全体を見渡し、施設長をサポートする仕組みと職員教育の充実が期待されます
	内容	多様な特性や障害を抱えた利用者が、定員限度近くまで来所する状況が恒常化するに依り、業務の幅も非常に広がっています。とりわけ施設長の役割や責務は、多岐に渡り、質量ともに大きく増大する傾向が続いています。こうした中で、利用者の支援に齟齬や手抜かりが起きないようにするためには、施設長をサポートする仕組みや職員の配置が必要になっています。目の前の業務だけにフォーカスするのではなく、事業所全体を見渡して先をみた動き方ができる人材を育成するという観点から、職員教育の方向性を新たに確立することが求められます。